

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		総務管理費（特別会計）[雨水浸透ます・雨水貯留槽設置補助事業]									
予算科目	款	1	総務費	項	1	総務管理費	目	1	総務管理費	事業番号	1
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	下水道課 庶務係					課長名	廣瀬裕				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 6		
【施策名】 防災・防犯体制の推進								総合計画書(ページ)	93		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	①②雨水浸透ますと雨水貯留槽の設置を希望している市内の既存住宅を所有する個人					①雨水浸透ます設置件数 9件 ②雨水貯留槽設置件数 89件					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	①水環境の保全及び雨水の流出抑制が図られる。 ②雨水の有効利用が図られる。					①雨水浸透ます設置補助金交付件数(累計) 7件 ②雨水貯留槽設置補助金交付件数(累計) 85件					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	雨水浸透ます・雨水貯留槽設置費用の補助					①雨水浸透ます設置補助金交付件数 0件					
	① 雨水浸透ます設置補助金額 上限70,000円					②雨水貯留槽設置補助金交付件数 7件					
	② 雨水貯留槽設置補助金額 上限35,000円										
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	円	① 2 ② 11	① 9 ② 89	① 9 ② 89					
	成果指標	②の数値	円	① 7 ② 77	① 7 ② 78	① 7 ② 85					
	目標	②の目標値		① 2 ② 11	① 2 ② 11	① 2 ② 11		① 2 ② 8	① 2 ② 8		
	目標値設定の考え方										
	予算計上申請見込み件数										
活動指標	③の数値	①件 ②回	① 0 ② 7	① 0 ② 1	① 0 ② 7						
3 経費	事業費(実績)		円	141,000	10,000	125,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	141,000	6,000	80,000					
		特定財源	円		4,000	45,000					
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人								
職員人件費(再任用以外)		円	277,200	420	283,800						
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	418,200	10,420	408,800						
4 環境変化等	(1) 開始年度	24 年度									
	(2) 環境の変化	・雨水貯留槽については、庭や植木への散水利用から、防災時に使用するための貯留へと設置者の意識が変わりつつある。 ・雨水浸透ますについては、年1、2件程度の申請件数があったが、建替え等により対象建物が減少している。 令和2年4月1日から地方公営企業会計へ移行することに伴い、令和2年3月31日で切替決算を行ったことから、財源の内訳は決算額と異なる。									

事業名称	総務管理費（特別会計）[雨水浸透ます・雨水貯留槽設置補助事業]			
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係 課長名 廣瀬裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	雨水浸透ます設置補助及び雨水貯留槽設置補助については、水環境保全を図るために、現行どおり補助を行うことが適切であるため、広く周知を行いたい。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	HP及び市報等でPRした。			
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	雨水浸透ます設置補助については、水環境の保全を図るために、現行どおり補助を行うことが適切であるが、申請件数が少ない。雨水貯留槽設置補助について今後も雨水補助事業について広く周知する必要がある。			
9 今後の方向性	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 防災・防犯体制の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 地下水の涵養を促し、水環境の保全及び雨水の流出抑制を図るために、雨水補助事業を継続して行う必要がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 チラシ配布やポスター掲示等雨水補助事業を広く周知する。また、補助金交付を受けて雨水浸透ますや雨水貯留槽を設置した者に対し、雨水を最大限に有効利用するため、設置した雨水浸透ますや雨水貯留槽の定期的な保守点検や、常に良好な状態で管理してもらうことを周知する。			